



8 2025
AUG

ROTARY International District 2760
GOVERNOR'S

Monthly Letter

2025-26

国際ロータリー第2760地区 ガバナー月信 vol.2

Rotary
第2760地区



よいことの
ために
手を取りあおう

ガバナー 鈴木 康 仁

〒460-0003
名古屋市中区錦二丁目15番15号 豊島ビル3階
TEL:052-201-2760 FAX:052-201-1670

Contents 目次

- 1 表紙
- 2 表紙の話(説明文)
CONTENTS
- 3 ガバナーメッセージ
- 4 特別月間に寄せて(8月)
- 5 ガバナー活動報告



2025年4月20日に名古屋マリオットホテルにて2025-26年度地区研修・協議会が開催され、その中で、コロナ対策で活躍された尾身先生の講演が行われました。

先生は以前からポリオ根絶に携われロータリーが果たしてきた役割についてもお話しされました。



尾身先生と鈴木ガバナー 地区研修・協議会控室にて

控室で親しく談笑され、神野パストガバナーからのアドバイスがあり、一般市民向けにポリオ根絶の大切さを訴える尾身先生の講演会を2025年10月23日に行うことになりました。

地区幹事 小池 高弘



—「縁尋奇妙（えんじんきみょう）」 「多逢聖因（たほうしょういん）」—

ある人との出会いが、次の出会いを呼び、不思議なご縁となって広がっていく。これを仏教では「縁尋奇妙（えんじんきみょう）」と言います。そして、良き人との出会いは、人生に善き影響をもたらす因（たね）になる。これを「多逢聖因（たほうしょういん）」と言い、この2つの言葉は、ロータリーの本質にも通じていると考えています。



ですから、私は、何度も多くの会に於いてこの言葉を多用しております。私は、ロータリーの原点は、「人とのご縁」だと固く信じており、会員増強というのは、こうした縁を拓ける為の積極的な運動だと思うのです。

本年度、私たちは、「ともに学び、ともに地域社会に貢献しよう」という想いのもと、日々活動を重ねています。こうした志に共感し、ともに歩む仲間を増やしていくことこそ大切なことなのだと思います。

そして、それは同時に、未来への私たちの責任でもあると考えています。ですから、私たちは、ロータリーの理念を持つ未来を創る仲間とのご縁を深め、ともに学びを通じて成長しあっていかねばならないことも頭に留め置いておかねばならないと思います。

ロータリーの徽章である“歯車”は、ロータリアンお一人お一人が持つ、奉仕の心の象徴です。この多くの歯車がしっかりと噛み合い、連動して回転するとき、クラブの力は何倍にもなり、社会を前へ大きく動かすことが出来るのだと信じています。

私たちは、ただの組織人ではありません。私たちは、家庭人であり、職業人であり、地域人であり、日本人であり、地球人であります。それぞれの役割を持ちながら、同じ志でつながっているのが、私たちロータリアンです。今こそ、夢と希望に満ちた未来の実現に向かって、絆を深め、奉仕の歯車を力強く廻そうではありませんか。

これからどうぞ、皆さまお一人お一人が、良き人との縁を更に拓けられ、素敵なロータリーライフを過ごされることを心より願っております。

2025-26年度ガバナー 鈴木 康仁

8月
AUGUST

会員増強・新クラブ結成推進月間に寄せて



委員会集合写真



会員増強委員長

木所 壮太

(豊橋東RC)

毎年8月は『会員増強・新クラブ結成推進月間』です。

2024-25年度から「3年間の目標」がはじまり、2025-26年度は、「革新」「継続性」「パートナーシップ」がキーワードとして挙げられています。

これを踏まえ、当地区では「4つの優先事項に沿ったクラブ戦略計画の作成」、「新たな形態のクラブの創設」を活動方針に掲げています。

当委員会では、「3年間の目標」を達成する為に必要とされる「継続性」「革新性」をクラブ運営に取り入れる上でのヒントを得ていただく事を目的に、8月に会員増強セミナーPARTⅠ【戦略編】、11月に会員増強セミナーPARTⅡ【戦術編】、来年の2月に「DEI推進フォーラム」を開催させていただきます。

また、「衛星クラブ説明会」等、「新たなクラブを

創設」するメリットについて、お伝えする活動にも引き続き取り組んで参ります。

当委員会のメンバーは、地区内各分区から出向していただいております、10名中3名が女性であり、また、ローターアクターも配属されているという事で、とてもバランスの取れた委員会構成になっています。

8月の「会員増強・新クラブ結成推進月間」を中心に、年間を通して、「会員増強卓話」にも随時対応させていただく中で、「入会者より退会者の方が多い」という状況に歯止めを掛けると共に、「衛星クラブ」をはじめとする「新たなクラブの創設」についての啓発活動にも取り組む事で、「強いクラブづくり」「持続可能なクラブづくり」のお手伝いをさせていただきます。

一緒に、『熱い夏』を乗り切りましょう！



第1回委員会



第3回委員会

7月22日開催 クラブ活性化セミナー報告



全体会議



ガバナー挨拶及び趣旨説明



担当地区副幹事

水野 順也
(蒲郡RC)

令和7年7月22日金曜日午後3時30分より、ウインクあいち5階小ホール2において、「2025-26年度クラブ活性化セミナー」が開催されました。本セミナーの構成は、小ホール2にて全体会議を行い、その後11階12階の10会議室に分かれ、ワークショップを行いました。ワークショップ終了後は再び小ホールに集まり、まとめ及び講評があり、午後18時45分にセミナーは終了しました。

全体会議において、鈴木康仁ガバナーから本セミナーのテーマである「会員が楽しくなる魅力あるクラブ作り」に沿って挨拶があり、次に地区ラーニングファシリテーター籠橋美久パストガバナーから挨拶をいただきました。続いて、地区行動計画推進リーダー伊藤靖祐パストガバナーから会員増強の推進計画の考え方、行動の仕方の説明をされました。その後、「ロータリーの行動計画4つの優先事項」に基づき、この行動計画を推進するために、ロータリー財団委員会加藤博巳委員長、会員増強委員会木所壮太委員長、公共イメージ向上委員会古市晃久委員長、地区危機管理委員長大見宏委員長から、各委員会が行う内容についてスピーチがありました。

その後、RI第一地域ロータリー会員増強コーディネーター、高崎ロータリークラブ所属田中久夫パストガバナーより、「クラブ活性化を考える～地

区・クラブリーダーに期待すること」と題して講演いただきました。非常に痛快で会員の皆が頷く話題でクラブ活性化にふさわしいお話が聴けました。

ワークショップでは、各クラブに対して事前に提出を依頼したアンケートに沿って、ファシリテーターが議論を先導する形で進め、各グループにおいて活発な情報の交換が行われました。

最後に、鈴木康仁ガバナーから本セミナーのまとめ、ロータリー財団地域コーディネーター補佐吉川公章パストガバナーから講評をいただき、本年度のクラブ活性化セミナーは散会しました。



講師：RI第一地域ロータリー会員増強
コーディネーター 田中久夫氏

7月22日開催 クラブ活性化セミナー報告



ワークショップ



地区ラーニング委員長

杉浦 定文
(名古屋名北RC)

全体会議でのRⅠ第1地域ロータリー会員増強コーディネーターの田中久夫氏の講演終了後、各クラブは10のグループに分かれてワークショップに参加してもらいました。

私たちラーニング委員会はこのワークショップを担当させていただきました。

1グループはだいたい16～18人程度でそれぞれのグループにはラーニング委員会よりファシリテーター1名、また会員増強委員会、公共イメージ向上委員会、ロータリー財団関連委員会より委員1名ずつ、さらにガバナースタッフ2名が参加し80分のディスカッションを行い活発な意見交換をしてもらいました。

途中具体的な質問が出た場合には、それぞれの委員会がそれを持ち帰り後ほど返答するというスタイルで行われました。

室内のテーブルをコの字状に配置しその真ん中にファシリテーターが立ち参加者の議論を進めていくというRⅠ方式にて行いました。事前に参加クラブにはアンケートを取り、それをもとにディスカッションを進め「会員増強」「公共イメージ」「財団」の自クラブの現状について意見を出してもらい今後どうすればより良いクラブにしていけるかということについて話し合いました。

クラブの大小、雰囲気なども違う中参加者がそれぞれの意見を忌憚なく発表することができたのではないかと思います。

具体的には会員増強に関しては女性会員をいか

に増やしていくか、また退会者を少なくしクラブとしての会員数を増やしていくのか、そして SNSを発信することによりクラブの現状をより多くの人に知ってもらうという取り組みのあるクラブも多くありました。

ディスカッションが盛り上がり時間をオーバーしてしまうということもありましたが私たちラーニング委員会としても参加者が活発に意見を出してもらうことこそが一番嬉しいことであり、そういう方向に持っていくことが私たちのファシリテーターのスキルだと思います。

皆さんで意見交換をする中、自分のクラブの進むべき道筋について考えてもらうことができたようでした。

